

私学助成署名推進ニュース

全国私学助成をすすめる会(事務局: 全国私立学校教職員組合連合)
No.9 2024年7月18日(木)

7・12「学費の公私間格差・自治体間格差是正を考える院内集会」その2 ご挨拶くださった国会議員のみなさん



田島麻衣子議員 山添拓議員 玉木雄一郎議員 宮本徹議員 本村伸子議員 柴山昌彦議員 西村智奈美議員 船後靖彦議員 吉良よし子議員



阿部とも子議員 芳賀道也議員 川田龍平議員

2024.7.12 学費の公私間格差・自治体間格差是正を考える院内集会 参加議員一覧

本人出席議員のみなさん				代理出席議員のみなさん				
お名前	選出	院	会	No	お名前	選出	院	会
田島麻衣子議員	愛知	参	立	1	宗清皇一議員	比例近畿	衆	自
山添拓議員	東京	参	共	2	滝沢求議員	青森	参	自
玉木雄一郎議員	香川	衆	国	3	山崎正恭議員	比例四国	衆	公
舟山康江議員	山形	参	国	4	森山浩行議員	比例近畿	衆	立
宮本徹議員	比例東京	衆	共	5	岩田和親議員	佐賀	衆	自
本村伸子議員	比例東海	衆	共	6	大野敬太郎議員	香川	衆	自
☆柴山昌彦議員	埼玉	衆	自	7	浅野哲議員	茨城	衆	国
○西村智奈美議員	新潟	衆	立	8	小林一大議員	新潟	参	自
○船後靖彦議員	比例	参	れ	9	櫛渕万里議員	比例東京	衆	れ
○吉良よし子議員	東京	参	共	10	小沼巧議員	茨城	参	立
阿部とも子議員	神奈川	衆	立	11	片山大介議員	兵庫	参	維
芳賀道也議員	山形	参	無	12	吉田統彦議員	愛知	衆	立
川田龍平議員	比例	参	立	13	泉田裕彦議員	新潟	衆	自
				14	平井卓也議員	比例四国	衆	自
				15	磯崎仁彦議員	香川	参	自
				16	吉川元議員	比例九州	衆	立
				17	鳩山二郎議員	福岡	衆	自
				18	階猛議員	岩手	衆	立
				19	三上えり議員	広島	参	無
				20	堂込麻紀子議員	茨城	参	無
				21	井上哲士議員	比例	参	共
				22	牧義夫議員	比例東海	衆	立
				23	山本有二議員	比例四国	衆	自
				24	石井拓議員	愛知	衆	自
				25	国定勇人議員	比例北信越	衆	自
				26	金子恭之議員	熊本	衆	自
				27	原口一博議員	佐賀	衆	立
				28	尾崎正直議員	高知	衆	自
				29	菊田真紀子議員	新潟	衆	立
				30	英利アルフィヤ議員	千葉	衆	自
				31	青山大人議員	比例北関東	衆	立
				32	高木真理議員	埼玉	参	立
				33	山下芳生議員	比例	参	共
				34	青山周平議員	愛知	衆	自
				35	大塚耕平議員	愛知	参	無
				36	重徳和彦議員	愛知	衆	立
				37	丹羽秀樹議員	愛知	衆	自
				38	野田国義議員	福岡	参	立
				39	瀬戸隆一議員	比例四国	衆	自
				40	石川昭政議員	茨城	衆	自
				41	篠原豪議員	神奈川	衆	立
				42	井坂信彦議員	兵庫	衆	立
				43	桜井周議員	比例近畿	衆	立
				44	田村智子議員	比例	参	共
				45	岩谷良平議員	大阪	衆	維
				46	太田房江議員	大阪	参	自
				47	辻元清美議員	比例	参	立
				48	安江伸夫議員	愛知	参	公
				49	三宅伸吾議員	香川	参	自
				50	近藤昭一議員	愛知	衆	立
				51	山口晋議員	埼玉	衆	自
				52	志位和夫議員	比例南関東	衆	共
				53	たがや亮議員	比例南関東	衆	れ
				54	小川淳也議員	香川	衆	立
				55	里見隆治議員	愛知	参	公
				56	木村次郎議員	青森	衆	自
				57	古賀之土議員	福岡	参	立
				58	大西健介議員	愛知	衆	立
				59	福島みずほ議員	比例	参	社
				60	渡辺博道議員	千葉	衆	自
				61	田中和徳議員	神奈川	衆	自
				62	神田憲次議員	愛知	衆	自
				63	伊藤孝恵議員	愛知	参	国
				64	津島淳議員	比例東北	衆	自
				65	今枝宗一郎議員	愛知	衆	自
				66	宮本岳志議員	比例近畿	衆	共
				67	打越さく良議員	新潟	参	立
				68	根本幸典議員	愛知	衆	自
				69	早稲田ゆき議員	神奈川	衆	立
				70	工藤彰三議員	愛知	衆	自
				71	伊藤岳議員	埼玉	参	共

	本	代	計
自由民主党	1	30	31
立憲民主党	4	22	26
国民民主党	2	2	4
公明党	0	3	3
日本共産党	4	6	10
日本維新の会	0	2	2
社会民主党	0	1	1
れいわ新選組	1	2	3
無所属	1	3	4
計	13	71	84
参加政党		7	

	本	代	計
衆参	6	48	54
	7	23	30
	13	71	84

衆議院文部科学委員 (☆) 10 人
参議院文教科学委員 (○) 4 人

(以下、あいさつ要旨)

「国連子どもの権利条約は、子どもの学ぶ権利について公私や生まれた土地などによる格差があってはいけないとしている。これを解消するために一緒にがんばりましょう」(田島議員)、「毎回こうして全国から集まり声を届けてくれることが力になって状況を動かしている。経済的理由による退学 1.8 倍は衝撃だ。設備費を合わせて60万円は、高校生が自分で払える額ではないし、仕方がないという数字でもない。変えていくために一緒に声を上げていきましょう」(山添議員)、「みなさんの声が届いて、確実に前に進んでいる。香川は県独自補助がない。自治体に差があってはいけない。昨年の税収は 2.5 兆円予算を上回った。年収910万円未満世帯まで無償化するための試算1100億円はその 4.4%。財源がないわけではない。一緒に変えていきましょう」(玉木議員)、「卒論のテーマが学費無償化だった。教育は権利なのに、行使するのにお金がかかること自体がおかしい。入学金だけでも5000円と25万円の差は50倍。異常な差だ。無償にしておく必要がある」(宮本議員)、「名古屋駅前での学費無償化のシール投票、経済的に苦しくアルバイトで家に生活費を入れているという高校生がいた。軍事費に8兆円、教育にお金を使うべきだ」(本村議員)、「この中で唯一文科大臣経験者。在任時には学費補助や ICT 活用のための財源確保にも動いた。国債を発行しても子どもが立派に成長すれば税収につながるのだから、教育を拡充する必要がある」(柴山議員)、「毎年要請に来てくださることが、歩みは遅いかもしれないけれど、間違いなく前進させている。新潟でも小さな前進があった。国を前進させるため、一緒にがんばりましょう」(西村議員)、「友人の子どもが神奈川の私学だが、年収が590万円を超えたため、補助が減ってしまった。国の責任で公立に合わせて無償にすべきだ」(船後議員)、「諦めないで声を上げるから前進している。国と自治体の両方に補助を申請しなければならない。国が今できる限りのことをして無償化すべきだ」(吉良議員)、「運動で出会ったキューバのギタリストは、小さい頃からギターが得意で、周囲の大人に勧められ音楽の学校に行った。そうしたいと思ったら、お金の心配なくその学びができる制度だということ」(阿部議員)、「山形は全国でも上位の県補助を実施してきたが、財政的には貧乏県。中位に落ちた。このままでは経済力のある地域の子どもが得をするようになる。大学生と対話したが、自分が大学生のために弟が進学を諦めて就職したと。無償化に向けて力を合わせましょう」(芳賀議員)、「薬害訴訟で声を上げることを学んだ。最近では給食無償化が広がりはじめた。オーガニック給食実現の議連代表を担っている。高校・大学を無償にできるよう教育にお金をかけるべきだ」(川田議員)